

好中球減少に伴う発熱

好中球数が 500/ μ l 以下あるいは 1000/ μ l 以下で 500/ μ l 以下にさらに下がる可能性が高く、発熱を認めるものを febrile neutropenia(FN)と言います。FN を来した場合、重症化するかどうかのリスクを評価し、低リスクの場合には経口抗菌薬 (ciprofloxacin or levofloxacin ± amoxicillin-clavulanate)を、高リスクの場合には第4世代セフェムあるいはカルバペネムの単剤投与かアミノグリコシドとの併用投与を行います。

また、FN の高リスク群で投与薬剤の dose-intensity を保つ目的で、顆粒球コロニー増殖因子 (G-CSF)を使用することもあります。日本では予防的 G-CSF の使用は保険で認めておらず、治療的投与しかできません。